

< ワークフローの多国語変換 > Workflow Translator



1. 概要

非ネイティブ言語（例えば英語）のワークフローを理解する時に、本国語（例えば日本語）に翻訳したワークフローを出力して利用できます。また、本国語のワークフローを他国語に変換して海外に提供したい時にも活用できます。

※翻訳は Google Apps Script の LanguageApp クラスを使用した機械翻訳です。

※アクティビティ表示名、注釈、コメントアクティビティの説明文が翻訳変換されます。

※このアクティビティを機能させるには、インターネット接続が必要です。

※Google Apps Script で翻訳アプリの構築が必要です。構築手順は以降の頁を参照ください。

尚、無料の Google アカウントでお試しできますが、Google Apps Script には利用制限があります。詳しくは Google の利用規約をご確認ください。

依存関係

- Google Apps Script を使用します。
- UiPath.Web.Activities 1.4.4

互換性

- UiPath.Studio 19.4.0

変換結果の例

変換前（例：英語）	変換後（例：日本語）

2. アクティビティの説明

アクティビティ名	機能	プロパティ
TranslateWorkflowFile	指定した Xaml ファイルを翻訳変換します。	<ul style="list-style-type: none"> •<u>SourceFilename</u> 変換元のファイルのパスを指定します。 •<u>OutputFilename</u> 出力するファイルのパスを指定します。 •<u>SourceLanguage</u> 変換元の言語（例：“en”） •<u>TargetLanguage</u> 変換する言語（例：“ja”） •<u>TimeoutMilliseconds</u> Http 要求の完了を待つタイムアウト値（ミリ秒） 指定がない場合は 30 秒待ちます。 •<u>WebApplicationURL</u> GoogleAppsScript の「web app URL」を入力します。
TranslateProject	プロジェクトフォルダを指定することにより、サブディレクトリを含む Xaml ファイルを全て翻訳変換します。	<ul style="list-style-type: none"> •<u>ProjectFolder</u> 変換元のプロジェクトフォルダーを指定します。 •<u>OutFolder</u> 出力フォルダーを指定します。元のプロジェクトフォルダーと同じ名前のフォルダーが作成されます。 •<u>SourceLanguage</u> 変換元の言語（例：“en”） •<u>TargetLanguage</u> 変換する言語（例：“ja”） •<u>TimeoutMilliseconds</u> Http 要求の完了を待つタイムアウト値（ミリ秒） 指定がない場合は 30 秒待ちます。 •<u>WebApplicationURL</u> GoogleAppsScript の「web app URL」を入力します。

※言語を指定するプロパティ設定値はデフォルトで"en"(英語)⇒"ja"(日本語)に設定されています。他の国の言語を指定する場合は下記 URL のコードを参照してください。

<https://cloud.google.com/translate/docs/languages>

3. Google Apps Script による翻訳アプリの構築手順

(1) Google Apps Script にアクセス

<https://script.google.com/>にアクセスし、「新しいプロジェクト」をクリックします。



(2) コードの実装

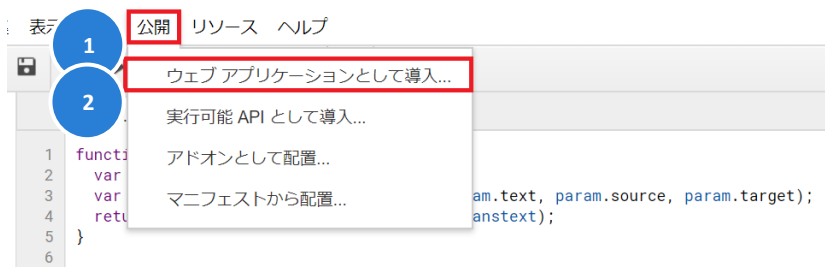
コードを実装（下記のコードをコピーして貼付けてください）

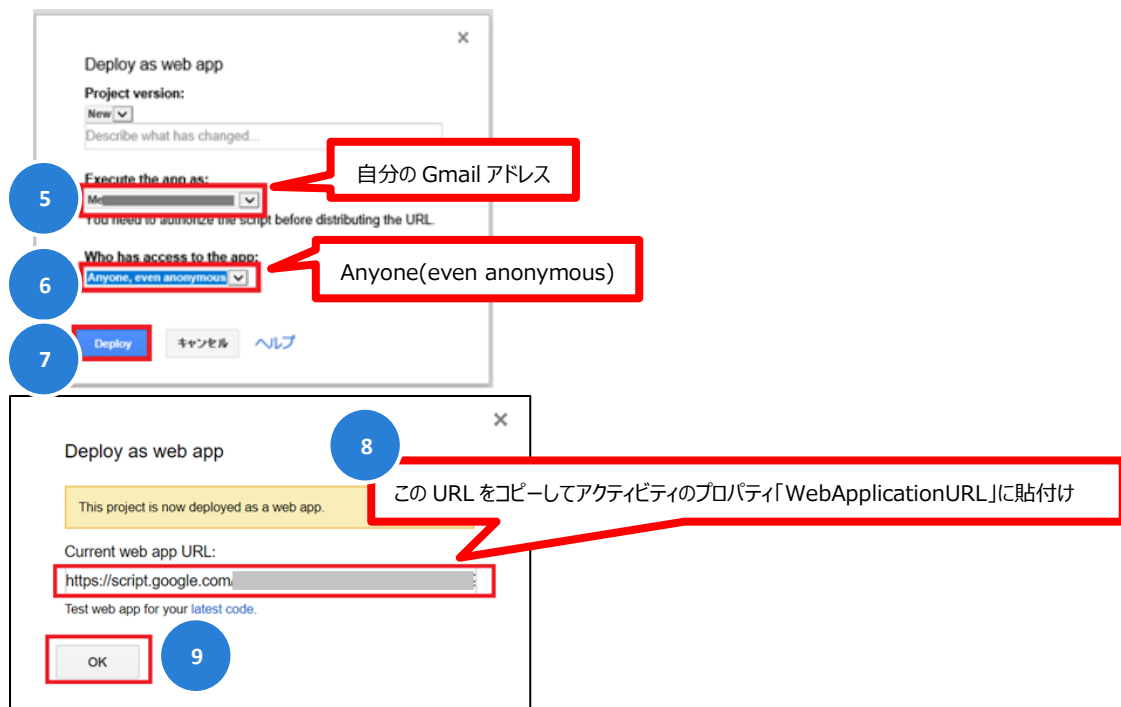
```
function doGet(e) {  
  var p = e.parameter;  
  var translatedText = LanguageApp.translate(p.text, p.source, p.target);  
  return ContentService.createTextOutput(translatedText);  
}
```



(3) 公開

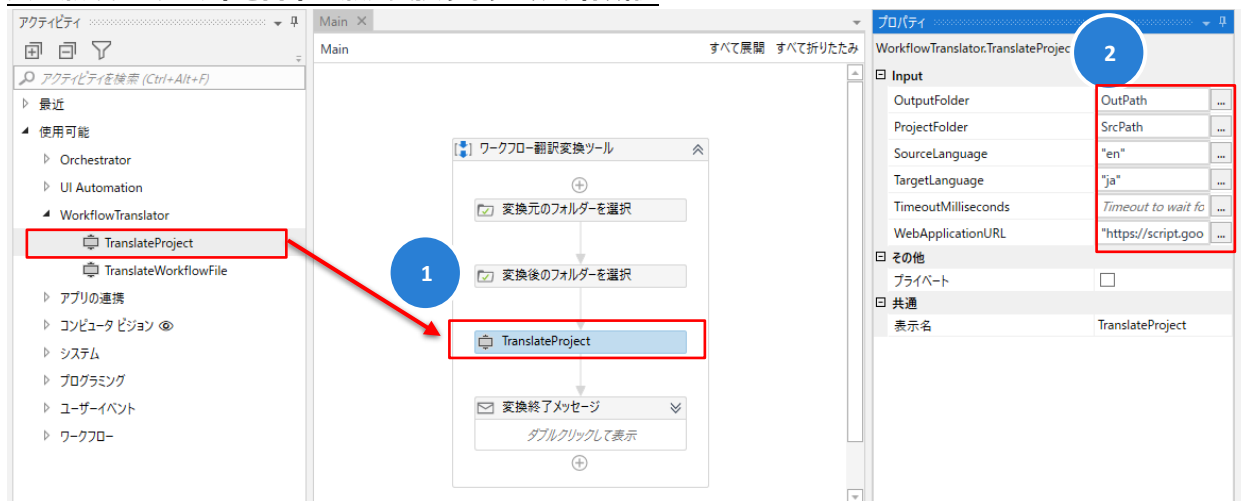
下記の手順で公開。





4. 使用例

英語版のプロジェクトを日本語版に変換するツールの作成例



License and Copyright

This activity package is under the MIT license.

Copyright (c) 2020 Jun Shiomi